


令和 2 年度
学校関係者評価報告書

令和 3 年 7 月

学校法人八文字学園
 水戸自動車大学校

■令和2年度 学校関係者報告書

学校法人八文字学園水戸自動車大学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「令和2年度自己点検評価報告書」（令和3年3月作成）を基本とした学校関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。

今後も、この評価結果を活かし、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

1. 対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

2. 実施方法

- (1) 学内に「学校関係者評価委員会」を設置し、委員会を中心に教職員一同により評価を行っております。

委員会構成：委員長 学校長

委員 法人事務局長、総務部、校長補佐、教務部、就職相談室

- (2) 評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行っています。

- (3) 評価は、年一回年度末に行います。

- (4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

学校関係者評価委員

氏名	所 属
高田 典之	(卒業生)
吉成 庄司	(卒業生)
吉原 栄治	(保護者)
渡邊 尚樹	(保護者)
雨谷 俊一	(地域住民)
本多 有佳梨	(地域住民)
伊達 延之	茨城ダイハツ販売株式会社 総務部 部長
大島 弘	株式会社 スズキ自販茨城 執行役員 サービス部 部長
山崎 智弘	茨城トヨタ自動車株式会社 総務部 人事課 主任
小野里 源治	日産プリンス茨城販売株式会社 サービス部 課長
満仲 淳之	茨城トヨペット株式会社 人事部 人事課 課長
野田 篤史	株式会社 北関東マツダ 管理部 採用グループ次長

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 評価項目に対する評価

評価は 4～1 の点数で記載します。

評価 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

■基準 1 教育理念・目的 評価 3.50 (昨年度 評価 3.80)

- ・自動車整備としての知識・技術を初心者でも安心の教育プログラムが魅力です。
- ・人間力重視の社会人としてのマナーやコミュニケーション、自分を表現するプレゼンテーション能力を高めるカリキュラムが評価できる。

■基準 2 学校運営 評価 3.25 (昨年度 評価 3.40)

- ・今後はシステムの見直しも含めて必要に応じて改良を行っていく必要があると思われる。

■基準 3 教育活動 評価 3.50 (昨年度 評価 3.60)

- ・【国土交通大臣指定の自動車整備士一種養成施設】として指定されたカリキュラムを実施。更に、高度な新技術や人間力アップのカリキュラムを導入している。
- ・《1級自動車整備学科(4年制)》では、高度で特殊な設備や教材を用いてハイブリッド車から最先端装備のシステムを学び、接客対応を視野に入れた広範囲でより良い深い整備知識と技術を習得している。
- ・《車体整備学科(3年制)》では、最新鋭の車体整備施設・設備で、基礎知識から板金・塗装・損傷診断・ボディー・アライメント(車体フレーム等の修正)などの実習を実施。
- ・《自動車整備学科(2年制)》では、「2級ガソリン自動車整備士」「2級ジーゼル自動車整備士」「2級自動車シャシ整備士」「2級二輪自動車整備士」の4種類の資格を基本から始

まり、安全性や各 부품の機能、材料や整備の基礎といった理論を学びながら実際の車輛を使用した実習を展開。知識と技術が連動した授業で理解を深めており充実している。

■基準4 学修成果 評価 3.25 (昨年度 評価 3.80)

- ・ 2級整備士、1級自動車整備士の高い合格率を継続している。
- ・ インターンシップ研修により実践技術を学んでいるところが良いと思う。

■基準5 学生支援 評価 3.50 (昨年度 評価 3.60)

- ・ 就職については、企業が求める人材をヒアリングし、その結果をもとに個人面談を重ね最善の就職先を考え企業の採用傾向に基づき就職対策を実施し内定率100%を毎年継続している点が評価できる。
- ・ 特別奨学金、試験特待生、資格特待性、学費の分割納入など、いろいろな側面から経済的に支援する制度は充実していると思われる。また、日本学生支援機構奨学金や各種の公的奨学金、民間奨学金の積極的な紹介や円滑な事務を心掛けて学生を支援している点も良いと思う。

■基準6 教育環境 評価 3.50 (昨年度 評価 3.40)

- ・ 実習車輛は各種メーカーの自動車・二輪・大型車まで多様な車種を導入。また、地元企業からの最新車輛の寄贈車も多く、最新技術の実車を使い授業を行っている。
- ・ 多数の企業との連携授業も実施し、インターンシップ研修による実践技術なども学び、また、本校で地元企業の整備技術大会を開催し、授業で体験できない現場の実習などの見学を行う点など教育環境は整っている。

■基準7 学生の受け入れ募集 評価 3.00 (昨年度 評価 3.80)

- ・ 「入学案内」や「ホームページ」、「学校見学会」、「体験入学会」、「オープンキャンパス」などで詳細に説明し、教育成果である教育実績、就職状況、資格取得状況なども合わせて説明しているので良いと思う。
- ・ 学納金は、教育内容や教育環境に照らし、他校の学費水準も把握している為、標準的である。

■基準8 財務 評価 3.50 (昨年度 評価 3.80)

- ・ 財務諸表の通り、学園の財務基盤は安定している。
- ・ 会計監査は、関連法規により公認会計士および監事により適正に行われている。

■基準 9 法令等の遵守 評価 3.50 (昨年度 評価 4.00)

- ・法令や設置基準の遵守については適正に行われているものと判断する。また、法令等による指定学科についても、その指定基準ならびに改正点等に適正に対応している。
- ・個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する規則」、「個人情報保護に関する細則」、「個人情報保護管理に関する運用基準」を定め、教職員へ周知し、遵守している。今後もより一層対策を強化していくことを求めたい。

■基準 10 社会貢献・地域貢献 評価 3.50 (昨年度 評価 3.60)

- ・地域高校生への出張模擬授業を行い、学生の職業への関心を高める支援を行っている点は評価できる。
- ・ボランティア活動として、地域の美化運動のため、学校周辺の清掃活動を行っているが、継続してほしい。

■基準 11 国際交流

- ・留学生の受け入れは、行っていない。 以上

【まとめ】

◇ 総合評価 3.40 と【ほぼ適切】という評価です。

コロナ禍にも関わらず、感染防止対策を図り、対面授業を実施してまいりました。教員、学生共に一致団結し、令和 2 年度を何事もなく無事卒業式を終えることができました。

今後も、感染防止に留意し、学校関係者の評価の実施、公表により、適切に説明責任を果たすとともに、関係する企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民による理解と参画を得ながら、企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民の連携協力による学校づくりを進めていきます。

社会のニーズに答えられる学生指導と教育の質の保証と向上を目指し、教職員一同邁進して参ります。